

## 平和のありがたみ

那覇市立与儀小学校五年 仲田 文香

今から約七十五年前の悲しみは  
ぜったいに起こしてはならない

あの時沖縄戦で流れた血と涙と命

それはどこの国でもどの場所でも

あの時のようなことはぜったいに

でも今もどこかであのような血

あのような涙が流れている

平成という幸せな時代に生まれた私は

青いきれいな海

緑々しいすてきな大地

広くて青い美しい空しかみたことのない私

でも七十五年前はそうではなかった

血や爆弾でよごれた黒い海

爆弾で穴だらけの野原

戦闘機がたくさんある黒い空

それを見たことがある私のおじいちゃん

おじいちゃんにその時の話を聞いて

私は少しためらった

でもおじいちゃんの間を見ると

「本当だよ」っていつているように感じた

私のおじいちゃんは戦争で兄弟をなくした

おじいちゃんは

「もうこんな経験はだれにもしてほしくない」と  
言った

その時私の目から涙がこぼれ落ちた

おじいちゃんは

「大丈夫こんな経験はさせないから」

と私の頭をなでた

その時のおじいちゃんの手は温かかった

今私がいる小学校は80年も続く

この校しゃが当時どんな音を聞いたのか

この沖縄が焼け野原になっている  
写真を見ると今でも信じられない

あの時この場所で多くの人たちの命が

消えていった

私が今まで当たり前だと思っていたのも

本当は幸せだ

それはあの時戦争の苦しさと闘ってくれた人た

ちのおかげということ